

省資源

省資源対策として、紙の使用量削減を進めています。
また、節水やアイドリングストップ、リサイクル製品の積極的購入など、資源の有効活用に努めています。

省資源の考え方

東京エレクトロングループでは、使用する資源の量を必要最低限に減らした上で、環境に配慮した資源調達をしています。水、コピー用紙、文房具などの使用量・購入量削減をはじめ、グリーン製品・エコ製品の積極的購入、オフィス文具メーカーの廃品回収にも協力して、省資源活動を推進しています。

また、当社グループでは、低公害車の導入を積極的に行っています。例として、東京エレクトロンデバイス(株)横浜本社では、社有車の低公害、低燃費車種への切り替えを進めた結果、社有車の80%が環境対応車種となりました。

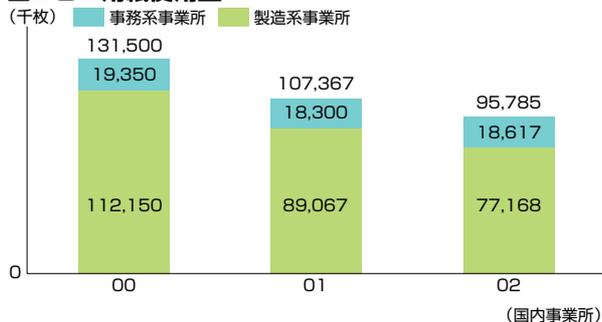
紙の使用量削減についての取り組み

当社グループでは全社的に、紙の使用量削減に取り組んでいます。例えば、すべての事業所でコピー用紙の両面使用や縮小コピーの励行などに努めています。さらに、できるだけ紙を使わない情報の共有化を図り、回覧書類を電子化するなど、電子情報への置き換えを進めた結果、2002年度は当社グループでのコピー用紙の使用量が2001年度より約11%、約1,200万枚削減できました。

すべての事業所で一部特殊な用途を除いて再生紙を使用するとともに、今後も業務を見直し、必要最小限の記録・帳票類に集約して紙使用量を削減していきます。

さらに、木材繊維に替わる新しい非木材資源であるケナフ材を使用した紙コップを導入するなど、森林資源の保全につながる活動を行っています。また、社員の紙コップ使用を少なくするよう呼びかけています。

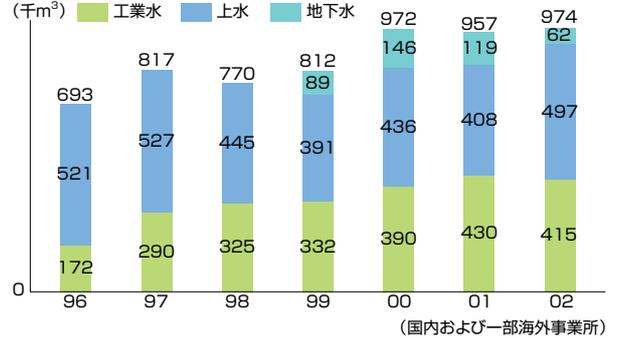
■コピー用紙使用量



水の使用量削減の取り組み

製造系事業所では、冷却水循環装置を導入し、製造・開発・試験・出荷など、あらゆる行程で使用している工業用水を再利用し、水の使用量を削減しています。また、各事業所のトイレ・手洗いなどには、自動水洗を導入し、水の止め忘れや無駄使いを減らして節水に努めています。

■水使用量の推移



TOPICS

節水設備導入 (空冷式真空ポンプ)

水使用量削減に関し、佐賀事業所では製品の製造に使用する真空ポンプを水冷式から空冷式に変更しました。これは、省資源部会のシミュレーションおよび水使用量の調査により、従来の水冷式真空ポンプでは、市水を大量に消費していることがわかったためです。これにより、冷却のために年間約1万8,000m³使用していた市水を削減することができ、費用対効果においても十分な結果を得ることができました。



導入した空冷式真空ポンプ

■佐賀事業所 市水使用量の推移

